

秋の映画

この秋公開の邦画、韓国映画からおすすりめ作品を紹介しします。

沖繩の戦後を生きる

戦後の沖繩で自由を求めて駆け抜けた若者たちの姿を描く『宝島』(9月19日公開)。原作は真藤順丈の同名小説。妻夫木聡が主演し、広瀬すず、窪田正孝、永山瑛太らが共演。「るろうに剣心」シリーズの犬友啓史監督がメガホンをとった。1952年、米軍統治下の沖繩。米軍基地の物資を奪い、住民らに分け与える「戦果アギヤー」と呼ばれる若者たちがいた。グスク、ヤマコ、レイの幼なじみの3人と、リーダー格のオン。しかしある夜の襲撃で、予定の戦果を手に入れたオンは消息を絶つ。残された3人はオンの影を追いつながらそれぞれの道を歩み始めるが…。アメリカに支配され、本土からも見捨てられる現実に、それぞれのやり方で抵抗する3人は沖繩の今につながる。レイの



『宝島』©真藤順丈ノ講談社 ©2025「宝島」製作委員会

「だから武器をとるしかないじゃないか」との叫びに、刑事となったグスクが答えるシーンにぐっとくる。のべ2000人以上のエキストラによるコザ暴動のシーンは圧巻。191分、熱量と壮大なスケールに圧倒されっぱなしだ。

つながるあたたかさ

福岡県大牟田市が舞台の『オオムタアツシの青春』(9月19日)福岡県先行公開、26日全国公開。夢だつた洋菓子店を開店させようとした矢先にトラブルに見舞われる亜美、見知らぬ土地にやってきた青年・司、人知れず車中生活をする初老の静男。人生につまづいた3人の大人が、1人の少女との出会いをきっかけに新たな一歩を踏み出していく物語。みんなの協力で亜美の店が無事オープンし、喜び合っていた矢先、司と静男の「過去」の影が忍びよ…。

自由に生きるって?

お金があり、家族がい

ちよつとしたおせっかから生まれる「絆」が、生きづらさをやわらげていく。4人の行く末にハラハラしながらも、つながるあたたかさにホッとする。炭坑の町だった大牟田の街並みや風情も味わい深い。



『オオムタアツシの青春』©2025「オオムタアツシの青春」製作委員会

でも、人生は思い通りにならない。最後まで自分らしく生きる選択、あなただけの、問いかける『最後のピクニック』(9月12日公開)。ソウルで息子家族と暮らすウンシムは、海沿いの町・南海(ナム)に60年ぶりに帰郷し、親友グムスンのもとに身を寄せる。かつてウンシムに思いを寄せていたテホも交えて昔を懐かしみ楽しく日々を過ごす。彼女が長年この地を離れていた理由が明らかになる。

メディア弾圧下の闘い

『非常戒厳前夜』(9月6日公開)は、韓国の調査報道専門・非営利独立メディア「ニユース打破(タパ)」によるドキュメンタリー映画だ。昨年12月、ユン・ソンニョル大統領による突然の「非常戒厳」宣布から大統領



『最後のピクニック』©2024LOTTE ENTERTAINMENT&ROCKET FILM ALL Rights Reserved.

子どもたちとの関係もそれぞれしつくりこない。しのびよる老いと病いへの不安もふくむ。「この世を生きるの遠足と同じ。遠足に行こう」と、2人は美しい花が

弾劾、逮捕へ。その背景にあったのが、ユン政権によるメディア弾圧と、それに抗したジャーナリストたちの闘いだった。「ニユース打破」はユン・ソンニョルが検察総長候補者に指名された2019年から彼の不正を追及。22年の大統領選挙でユン候補を不利にするフェイクニュースを流したと「名誉毀損」で起訴され、本部と自宅に家宅捜査が行われた。その一部始終をカメラに記録し、さらなる調査報道と法定闘争でユン政権を追い詰めていく…。家宅捜査の恐怖を語りつつ「権力に屈しない」「大統領は任期を全うできないだろう」とつぶやく記者。その通りになった。企業広告をとらず、約6万人の市民からの支援で運営されているという。苦難の歴史の中で民主主義を求める声の厚さ。今見たい作品だ。



『非常戒厳前夜』(C) KCIJ-Newstapa

編集部から

連日寄せられる4・5面ホットライン。酷暑のなか平和を願う行動が多彩にとりくまれ、「いいとこを秋へつなげたい。」(か)

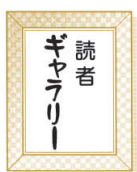


ハートの9条バッジ

滋賀・野洲支部陽だまり班 梅本和子

「9条を守る運動を広げよう」と、エコ手作り組で、厚紙とフェルト、キラキラシールで作りました。

(☆風景、人物、動植物、9条グッズの写真をお寄せください。Eメールでも可)



<月1回>

旬レシビ

韓国風すき焼き(チョンゴル)

管理栄養士・料理家 金丸絵里加



り、薄切りにする。エノキダケは長さを半分に切ってほぐす。③フライパンにゴマ油を塗り広げ、中央をあけて①を放射状に置く。肉の間に②を彩りよく並べる。混ぜ合わせたBを注いで中火にかけ、肉に火が通ってきたら、卵を中央に割り入れ、全体をまぜながらいただく。■1人分366kcal、塩分1.7g

まだまだ暑さが続く日の献立に。コチュジャンベースの甘辛いスープが食欲をそそります。
材料(2人分)
合いびき肉150g
A { おろしニンニク小さじ1、コチュジャン・酒各小さじ1、しょうゆ・砂糖各小さじ1/2
卵2個、赤パプリカ1個、ゴーヤ1本、エノキダケ1袋、ゴマ油小さじ1
B { 水1/2カップ、みりん・コチュジャン各小さじ2、しょうゆ小さじ1
作り方
①ボウルにひき肉とAの材料を入れてなじむようにまぜる。
②パプリカは縦細切りにし、ゴーヤは縦半分切りにしてワタをと